



# 八月(大)葉月 奎宿

八月八日立秋の節より  
月命甲申八白土星の月  
晴剣殺東北方

旧六月小  
七月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	土	つちのとり	九紫	八朔、水の日、諏訪神社祭、広島敬島神社管絃祭、横濱身代不動尊、曾根病對、齋戒、大宮氷川神社例祭、一粒万倍日、旧六月小	十七	佛滅	みつ	柳	百重七	4.48	18.46	19.11	11.38
2日	日	かえいぬ	八白	八戸三社祭、桑名石取祭、鬼貫忌	十八	大安	たいら	星	大みょう	4.49	18.45	19.54	18.16
3日	月	かのと	七赤	青森ねぶた祭(2日、7日)、秋田竿燈(6日迄)、多賀大社萬燈祭	十九	赤口	さだん	張	大みょう	4.50	18.44	20.34	18.50
4日	火	みづのえ	六白	京都北野天満宮例祭、久留米祭、八せん始め	廿	先勝	とる	翼	天おん	4.51	18.43	21.14	19.23
5日	水	みづのとうし	五黄	山形花笠祭(7日迄)、土用二の丑	廿一	友引	やぶる	軫	十し	4.51	18.42	21.54	19.55
6日	木	きのおと	四緑	広島平和記念日、仙台七夕(8日迄)、不成就日	廿二	先負	あやぶ	角	母倉	4.52	18.41	22.34	20.28
7日	金	きのと	三碧	下弦一一時〇三分、鼻の日、木曾御嶽教御神火祭、新潟祭(9日迄)	廿三	佛滅	なる	亢	神よし	4.53	18.40	23.17	21.02
8日	土	ひのえ	二黒	立秋五時〇一分、下関忘宮教方庭祭(7日、13日)	廿四	大安	なる	氐	大みょう	4.54	18.39	23.17	22.33
9日	日	ひのと	一白	長崎原爆の日、宝塚中山寺夏会式、京都清水寺千日詣り(16日迄)	廿五	赤口	おさん	房	月とく	4.55	18.38	23.59	21.02
10日	月	つちのえ	九紫	館山安房神社祭、西鶴忌	廿六	先勝	ひらく	心	神よし	4.55	18.37	14.09	16.37
11日	火	つちのひび	八白	高知よさこい祭(9日、12日)	廿七	友引	とづ	尾	神よし	4.55	18.37	15.24	18.30
12日	水	かえさる	七赤	徳島阿波踊り(15日迄)、庚申、未伏	廿八	先負	たつ	箕	大みょう	4.56	18.36	16.03	21.58
13日	木	かのと	六白	月遅れ盆迎え火	廿九	佛滅	のぞく	斗	十し	4.57	18.35	17.26	22.37
14日	金	みづのえ	五黄	●初二三時五三分、鶴岡荘内大祭、奈良春日大社万灯籠、旧七月大	朔	先勝	みつ	牛	母倉	4.58	18.34	18.33	23.11

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。

【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人は結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」日本書紀の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲介者の必要度がたかまつて結果である。仲人親といった夫婦の振り返り親視する言葉もあるくらいである。仲人は夫婦揃っての仲人。

15日	土	みづのと	四緑	月遅れ盆、終戦記念日、全国戦没者追悼式、東京富岡八幡宮祭、八せん終り、三隣亡	二	友引	たいら	女	ちう日	5.00	18.30	6.17	18.39
16日	日	きのおと	三碧	月遅れ盆送り火、京都、箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭、甲子、一粒万倍日、不成就日	三	先負	さだん	虚	天おん	5.01	18.29	7.11	19.12
17日	月	きのと	二黒	滋賀建部夏祭	四	佛滅	とる	危	●	5.01	18.29	8.05	19.43
18日	火	ひのえ	一白	千葉だらだら祭(16日、22日)、伝教大師誕生会	五	大安	やぶる	室	天おん	5.02	18.28	8.58	20.14
19日	水	ひのと	九紫	秋田花輪ばやし	六	赤口	あやぶ	壁	神よし	5.02	18.27	9.52	20.46
20日	木	つちのえ	八白	旧七夕、鎌倉市鎌倉宮祭	七	先勝	なる	奎	天おん	5.03	18.25	10.46	21.19
21日	金	つちのと	七赤	己巳	八	友引	おさん	婁	大くわ	5.04	18.24	11.41	21.54
22日	土	かえうま	六白	大つち	九	先負	ひらく	胃	ぶく日	5.05	18.23	12.37	22.32
23日	日	かのと	五黄	処暑一九時三七分、●上弦四時三二分、●上弦四時三二分、一遍上人忌	十	佛滅	とづ	昂	大みょう	5.06	18.22	13.33	23.15
24日	月	みづのえ	四緑	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会、不成就日	十一	大安	たつ	畢	大みょう	5.06	18.20	14.28	23.15
25日	火	みづのえ	三碧	東京亀戸天神祭	十二	赤口	のぞく	觜	十し	5.07	18.19	15.21	24.04
26日	水	きのおと	二黒	富士吉田火祭	十三	先勝	みつ	参	母倉	5.08	18.18	16.12	24.39
27日	木	きのと	一白	愛知一色大提灯、三隣亡、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭	十四	友引	たいら	井	ちう日	5.09	18.16	17.44	25.31
28日	金	ひのえ	九紫	旧ぼん、一粒万倍日	十五	先負	さだん	鬼	●	5.09	18.15	18.59	26.24
29日	土	ひのと	八白		十六	佛滅	とる	柳	●	5.10	18.14	19.54	27.17
30日	日	つちのえ	七赤	○望三時三五分、小つち	十七	大安	やぶる	星	●	5.11	18.12	20.49	28.10
31日	月	つちのとう	六白		十八	赤口	あやぶ	張	神よし	5.12	18.11	21.44	29.03

が普通であり、人間、一生に一度は仲人をするものといわれている。

仲人役を引き受けたら、婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。

【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。

【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の大火文字、徳島の阿波踊りなどが有名である。

この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。

広島、長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。

十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。